2026年12月期　第３四半期決算短信〔ＩＦＲＳ〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　Appier Group株式会社　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　4180　URL https://www.appier.com/
代　表　者　(役職名) 代表取締役CEO　(氏名) 游　直翰
問合せ先責任者　(役職名) Senior Vice President of Finance　(氏名) 橘　浩二　(TEL) 03(6435)6617

配当支払開始予定日　―
決算補足説明資料作成の有無　：有
決算説明会開催の有無　：有　(機関投資家・証券アナリスト　向け　)

(百万円未満四捨五入)

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	38,805	25.0	7,395	57.1	3,764	97.3	3,408	102.4	3,300	98.7	3,300	98.7	3,308	―
2025年12月期第３四半期	31,036	26.3	4,708	41.0	1,908	58.5	1,684	29.5	1,661	34.0	1,661	34.0	△123	△108.8

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

	基本的１株当たり四半期利益	希薄化後１株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	32.34	32.23
2025年12月期第３四半期	16.33	16.20

（２）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	62,937	40,299	40,299	64.0
2025年12月期	60,497	37,149	37,149	61.4

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	2.25	2.25
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		EBITDA※		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的１株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	54,381	24.3	10,775	57.2	5,854	96.7	5,219	95.2	4,991	95.1	4,991	95.1	48.88

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①　ＩＦＲＳにより要求される会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	102,801,347株	2025年12月期	102,589,177株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	653,635株	2025年12月期	653,623株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	102,048,954株	2025年12月期３Ｑ	101,732,084株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提になる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）要約四半期連結財政状態計算書 …… 5
（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 …… 6
要約四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
第３四半期連結会計期間 …… 7
要約四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
第３四半期連結会計期間 …… 9
（３）要約四半期連結持分変動計算書 ……10
（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……11
（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 ……12
（継続企業の前提に関する注記） ……12
（親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記） ……12
（セグメント情報等） ……12
（売上収益） ……12
（重要な後発事象） ……12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当社グループのミッションは「自律型AIでROIを向上させる」です。

当第３四半期連結累計期間の売上収益は38,805百万円（前年同期比25.0%増）となりました。これは、アップセル・クロスセルによる既存顧客からの売上収益の拡大、地域及び顧客業種の拡大による新規顧客からの売上収益の拡大によるものであります。また、2026年９月におけるARR（注１）は52,953百万円となり、2025年９月の42,890百万円から23.5%拡大しました。

当第３四半期連結累計期間の売上総利益は22,745百万円（前年同期比35.8%増）となり、売上総利益率は58.6%（前年同期比4.7ポイント上昇）となりました。売上総利益率の改善は、主に業種に特化したAIアルゴリズムの強化によるものであります。

事業規模の拡大、2025年３月に開始した子会社の新規連結および為替の影響により、営業費用（販売及びマーケティング費用、研究開発費、一般管理費）の金額は増加し、対売上収益比率は前年同期の48.6%から50.1%へと1.5ポイント上昇しました。

その結果、EBITDA（注３）は7,395百万円（前年同期比2,687百万円増）、営業利益は3,764百万円（同1,856百万円増）となりました。また、税引前四半期利益は3,408百万円（同1,724百万円増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は3,300百万円（同1,639百万円増）となりました。

（注）１．Annual Recurring Revenueの略。年間経常収益。利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、関連する期間における１か月平均のリカーリング売上収益（注２）を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、関連する期間の最終月のリカーリング売上収益を12倍することで年換算して得られた金額です。2026年９月のARRは、利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては2026年４月から2026年９月のリカーリング売上収益の１か月平均を12倍し、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては2026年９月のリカーリング売上収益を12倍して算出しております。

２．リカーリング顧客(利用量ベースの価格体系で提供するソリューションについては、①当社グループのソリューションを４四半期以上連続で使用している顧客企業及び②直近１年以内の新規顧客企業で当社グループのソリューションを３カ月以上連続で使用している顧客企業を、サブスクリプション方式で提供するソリューションについては、当社グループと１年以上の契約を締結している顧客企業をいいます。)からの売上収益

３．EBITDA＝営業利益＋減価償却費及び無形資産償却費＋営業費用に含まれる税金費用

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び資本の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は62,937百万円であり、前連結会計年度末に比べて2,440百万円増加しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べて1,270百万円増加しており、主な増加要因は売上収益の増加による営業債権と契約資産の増加（前連結会計年度末比542百万円増）、営業活動による資金の獲得等による現金及び現金同等物の増加（同514百万円増）であります。

非流動資産は前連結会計年度末に比べて1,170百万円増加しており、主な増加要因は資産化の要件を満たす開発費用の資産計上による、のれん及び無形資産の増加（同1,796百万円増）であり、主な減少要因は使用権資産の償却による減少（同550百万円減）であります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末の負債合計は22,638百万円であり、前連結会計年度末に比べて710百万円減少しました。流動負債は517百万円増加し、非流動負債は1,227百万円減少しました。

主な増加要因は金融機関からの借入による借入金の増加（流動負債が1,329百万円増、非流動負債が38百万円減）であり、主な減少要因はM&Aに伴う条件付取得対価に係る債務の支払等による、その他の債務の減少（流動負債と非流動負債の合計で825百万円減）、前第４四半期連結会計期間と比較した当第３四半期連結会計期間の売上原価の減少による営業債務の減少（前連結会計年度末比595百万円減）、リース負債の返済による減少（流動負債が414百万円減、非流動負債が165百万円減）であります。

（資本）

当第３四半期連結会計期間末の資本合計は40,299百万円であり、前連結会計年度末に比べて3,150百万円増加しました。主な増加要因は四半期利益の計上による利益剰余金の増加（前連結会計年度末比3,300百万円増）であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、12,248百万円（前連結会計年度末比514百万円増）となりました。

当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は5,985百万円となり、前第３四半期連結累計期間と比べ、収入が3,652百万円増加しました。主な収入の増加要因は非資金損益調整後の税引前利益の増加（前年同期比2,327百万円増）、運転資本の増加額の減少（同1,542百万円減）であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は5,837百万円となり、前第３四半期連結累計期間と比べ、支出が2,206百万円増加しました。主な収入の減少要因は定期預金の払戻による収入（純額）の減少（前年同期比3,523百万円減）、主な支出の増加要因は無形資産の取得による支出の増加（同1,080百万円増）であり、主な支出の減少要因は子会社の取得による支出の減少（同2,322百万円減）であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は475百万円となり、前第３四半期連結累計期間と比べ、収入が6,319百万円減少しました。主な収入の減少要因は長期借入れによる収入（純額）の減少（前年同期比7,329百万円減）であり、主な収入の増加要因は短期借入れによる収入（純額）の増加（同1,080百万円増）であります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期連結累計期間においては、各利益指標が2026年８月13日に公表した2026年12月期通期連結業績予想（以下、「前回発表予想」）の前提を上回って推移いたしました。加えて、第４四半期の業績見通しについても、足元の堅調な進捗状況を勘案して見直しを行いました。これらを踏まえ、2026年12月期通期連結業績予想を修正することといたしました。

売上収益につきましては、北東アジア並びに米国及びEMEA地域における事業拡大を背景に、既存事業が順調に推移しており、前回発表予想を据え置きました。

一方、利益面につきましては、エージェント型AI（Agentic AI）の導入によりR&Dサイクルが加速し、アルゴリズムの改善と業界特化型AIモデルの改良・高度化が相乗的に進んだことを背景に、売上総利益率が想定を上回って改善いたしました。また、AIを活用した業務自動化の継続的な効果及び規律ある営業費用の管理により、営業費用の増加率を売上総利益の成長率以下に抑制いたしました。これにより、売上総利益の増加が営業利益の拡大に着実に寄与いたしました。以上の結果、EBITDAを含む各利益指標について、前回発表予想から上方修正いたしました。

また、増益及び運転資本の改善により、コア・フリー・キャッシュ・フローが当第３四半期連結累計期間において黒字化したことから、年間配当予想を前回発表予想の１株当たり2円30銭から2円50銭へ増額することといたしました。

２．要約四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）要約四半期連結財政状態計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,734	12,248
定期預金	2,569	2,674
営業債権	10,596	12,278
契約資産	4,773	3,633
その他の債権	181	143
その他の流動資産	658	599
その他の金融資産	6,051	6,257
流動資産合計	36,562	37,832
非流動資産		
有形固定資産	138	106
使用権資産	1,492	942
のれん及び無形資産	20,539	22,335
繰延税金資産	1,085	1,096
その他の金融資産	521	546
その他の非流動資産	160	80
非流動資産合計	23,935	25,105
資産合計	60,497	62,937
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	3,787	5,116
契約負債	517	449
営業債務	5,336	4,741
その他の債務	4,939	5,110
未払法人所得税	65	162
リース負債	707	293
その他の流動負債	143	140
流動負債合計	15,494	16,011
非流動負債		
借入金	5,754	5,716
引当金	70	71
繰延税金負債	171	142
リース負債	863	698
その他の債務（非流動）	996	―
非流動負債合計	7,854	6,627
負債合計	23,348	22,638
資本		
資本金	7,688	7,759
資本剰余金	23,954	23,725
自己株式	△1,000	△1,000
利益剰余金	△2,986	314
その他の資本の構成要素	9,493	9,501
親会社の所有者に帰属する持分	37,149	40,299
資本合計	37,149	40,299
負債及び資本合計	60,497	62,937

（２）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	31,036	38,805
売上原価	△14,289	△16,060
売上総利益	16,747	22,745
販売及びマーケティング費用	△9,539	△12,554
研究開発費	△3,686	△5,064
一般管理費	△1,870	△1,832
その他の収益	271	500
その他の費用	△15	△31
営業利益	1,908	3,764
金融収益	123	83
金融費用	△347	△439
税引前四半期利益	1,684	3,408
法人所得税費用	△23	△108
四半期利益	1,661	3,300
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,661	3,300
基本的１株当たり四半期利益（円）	16.33	32.34
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	16.20	32.23

第３四半期連結会計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
売上収益	11,372	13,852
売上原価	△5,216	△5,359
売上総利益	6,156	8,493
販売及びマーケティング費用	△3,483	△4,352
研究開発費	△1,297	△1,675
一般管理費	△479	△577
その他の収益	140	233
その他の費用	△8	△16
営業利益	1,029	2,106
金融収益	44	29
金融費用	△34	△174
税引前四半期利益	1,039	1,961
法人所得税費用	30	△56
四半期利益	1,069	1,905
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,069	1,905
基本的１株当たり四半期利益（円）	10.50	18.65
希薄化後１株当たり四半期利益（円）	10.45	18.61

要約四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期利益	1,661	3,300
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	△1	12
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1	12
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△1,783	△4
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△1,783	△4
その他の包括利益合計	△1,784	8
四半期包括利益	△123	3,308
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△123	3,308

第３四半期連結会計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
四半期利益	1,069	1,905
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	1	5
純損益に振り替えられることのない項目合計	1	5
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	744	△1,580
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	744	△1,580
その他の包括利益合計	745	△1,575
四半期包括利益	1,814	330
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,814	330

（３）要約四半期連結持分変動計算書

前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日　至　2025年９月30日)

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							
					その他の資本の構成要素			
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	資本合計
2025年１月１日残高	7,628	24,069	△1,000	△5,544	9,306	△144	9,162	34,315
四半期利益	―	―	―	1,661	―	―	―	1,661
その他の包括利益	―	―	―	―	△1,783	△1	△1,784	△1,784
四半期包括利益	―	―	―	1,661	△1,783	△1	△1,784	△123
配当金	―	△203	―	―	―	―	―	△203
株式報酬取引	―	36	―	―	―	―	―	36
新株予約権の行使	43	43	―	―	―	―	―	86
所有者との取引額等合計	43	△124	―	―	―	―	―	△81
2025年９月30日残高	7,671	23,945	△1,000	△3,883	7,523	△145	7,378	34,111

当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

（単位：百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分							
					その他の資本の構成要素			
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計	資本合計
2026年１月１日残高	7,688	23,954	△1,000	△2,986	9,643	△150	9,493	37,149
四半期利益	―	―	―	3,300	―	―	―	3,300
その他の包括利益	―	―	―	―	△4	12	8	8
四半期包括利益	―	―	―	3,300	△4	12	8	3,308
配当金	―	△229	―	―	―	―	―	△229
株式報酬取引	―	△71	―	―	―	―	―	△71
新株予約権の行使	71	71	―	―	―	―	―	142
自己株式の取得	―	―	0	―	―	―	―	0
所有者との取引額等合計	71	△229	0	―	―	―	―	△158
2026年９月30日残高	7,759	23,725	△1,000	314	9,639	△138	9,501	40,299

（４）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,684	3,408
減価償却費及び無形資産償却費	2,798	3,628
受取利息	△123	△83
支払利息	207	242
予想信用損失（△は戻入）	35	△14
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の評価損益（△は益）	△186	△223
条件付対価取崩益	△75	△239
株式報酬費用	122	71
その他	0	△1
運転資本の増減		
営業債権	△2,697	△1,648
契約資産	△787	1,163
その他の債権	△38	16
その他の流動資産	△81	124
その他の非流動資産	△25	28
契約負債	△59	△58
営業債務	918	△611
その他の債務	548	290
その他の流動負債	△18	△1
小計	2,223	6,092
利息の受取額	242	106
利息の支払額	△84	△145
法人所得税の支払額	△48	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,333	5,985
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14	△18
有形固定資産の売却による収入	―	1
無形資産の取得による支出	△3,653	△4,733
子会社の取得による支出	△3,299	△977
定期預金の払戻による収入	7,920	3,291
定期預金の預入による支出	△4,526	△3,420
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却による収入	―	34
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の取得による支出	△25	△8
敷金及び保証金の差入による支出	△34	△9
敷金及び保証金の回収による収入	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,631	△5,837
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入による収入	950	5,380
短期借入金の返済による支出	△700	△4,050
長期借入れによる収入	7,800	1,000
長期借入金の返済による支出	△509	△1,038
リース負債の返済による支出	△544	△588
株式の発行による収入	0	0
配当金の支払額	△203	△229
自己株式の取得による支出	―	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,794	475
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△8	△109
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	5,488	514
現金及び現金同等物の期首残高	5,496	11,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,984	12,248

（５）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、AaaS事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(売上収益)

顧客との契約から認識した収益の分解は、以下のとおりであります。当社グループは、事業を展開する上で販売状況を地域ごとに管理し、売上収益を管理区分単位である地域別に分解しております。

(第３四半期連結累計期間)

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
	百万円	百万円
北東アジア地域	20,880	27,510
米国、EMEA及びその他	6,178	7,865
グレーターチャイナ地域	3,375	2,923
東南アジア地域	603	507
	31,036	38,805

(第３四半期連結会計期間)

	前第３四半期連結会計期間 （自　2025年７月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結会計期間 （自　2026年７月１日 至　2026年９月30日）
	百万円	百万円
北東アジア地域	7,400	9,874
米国、EMEA及びその他	2,475	2,903
グレーターチャイナ地域	1,241	937
東南アジア地域	256	138
	11,372	13,852

地域は以下のように分類しております。

北東アジア地域：日本及び韓国

米国、EMEA及びその他：米国、EMEA（英国、フランスを含む）及びその他

グレーターチャイナ地域：中国、台湾及び香港

東南アジア地域：その他のアジア太平洋地域（シンガポール、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム、インド、インドネシア及びオーストラリア）

(重要な後発事象)

該当事項はありません。